



初任科第92期 風の時代

静岡県消防学校 初任科だより vol. 3

～通常点検～



6月29日（火）、学校長による通常点検を受けました。

通常点検とは、服装、姿勢、礼式等の検査を通じて、消防職員としての品位向上を図り、規律を保持し、反復訓練により不備事項を是正して、消防活動に際し有効適切な措置をとらせるという趣旨の点検です。

通常点検は毎週1回実施するものですが、入校から約3か月間、学校長の点検に向けて、毎朝欠かさず教官の指導の下、練習を実施してきました。最初の頃は、各小隊の整列の乱れや服装の不備が多数ある等、通常点検として成立していませんでした。そのため、課外時間に自分達で練習したり、服装の不備を学生同士で互いに確認し合うなどして練度を高めました。

その結果、整列や服装の不備がなくなり、全体として覇気が感じられるようになり、学校長点検も無事に終了することができました。この状態を維持できるよう、毎週の通常点検に取り組みます。



～危険物取扱者試験～

6月17日（木）、危険物全類取得者以外の学生118名を対象に、危険物取扱者試験が行われました。全員で掲げた目標は「合格率100%」です（例年、全国平均は30%～40%です。）。

講義の時間以外にも、課外時間や休日を使って積極的に学習に取り組んできました。危険物取扱者試験の勉強は、火災の性状や消火方法などを学べるため、消防職員にとって重要な科目です。当初は、専門用語や名称を覚えるのが大変で、難しい試験問題にも苦しめられましたが、勉強を重ねていくうちに内容を理解し、互いに教え合うなどして、模擬試験の合格率も徐々に向上していきました。

その結果、95.8%の学生が試験に合格することができました。目標には届かなかったものの、多くの学生が精一杯試験に取り組んだ結果が出たと思います。残念ながら今回は不合格だった学生も再度学習を重ね、今後の試験に臨みます。

発行日：令和3年7月27日 発行元：静岡県消防学校
制作：静岡県消防学校初任科第92期文化委員
富士宮消防 渡邊 富士宮消防 杉浦 下田消防 菊地